

## Webhook

webhook定義プロファイルを設定するには、次の役職が必要です。

- 統括システム管理者

Webhookは、通常何らかのイベントによってトリガーされるユーザー定義のHTTPコールバックであり、そのイベントの結果またはステータスに関する情報が含まれます。

次のいずれかが発生すると、Almaはwebhookを送信できます：

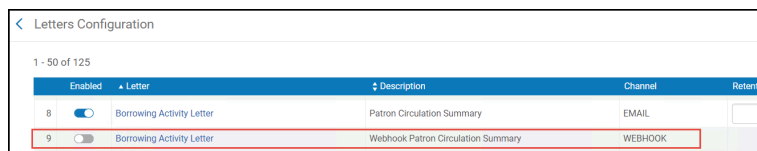
- ジョブの実行が完了した（Alma UIまたはAPIを使用）。
- ユーザーがアップデートされた。
- 次の通知のいずれかが送信されます：
  - リクエストキャンセルレター (全文)
  - 取寄せアクティビティレター
  - 貸出ステータス通知
  - 取り置きレター
- 保留、予約、移動、デジタル化、またはワークオーダーのリクエストが作成され、クローズされ、または取置き棚に置かれました。
- 貸出が作成、返却、または紛失したと通知されました。
- 書誌レコードが変更されました。
- 物理的なアイテムが変更されました。
- 連続した注文明細からのアイテムを受信しました。

### Note

Webhookをトリガーするイベントの完全なリストについては、開発者ネットワークの[「サポートされているイベント」](#)を参照してください。

webhookをアクティブにするには、Almaにwebhook統合プロファイルが設定されている必要があります（以下を参照）。

通知を使用する Webhookの場合、統合プロファイル作成の一部として、**[通知アクティビティ]**コードテーブルで目的の Webhookを有効にします。ただし、統合プロファイルが作成されると、「[通知設定](#)」テーブルから追加のWebhookを有効にしたり無効にしたりすることができます。



Enabled	Letter	Description	Channel	Retenti
8	<input checked="" type="checkbox"/> Borrowing Activity Letter	Patron Circulation Summary	EMAIL	<input type="checkbox"/>
9	<input type="checkbox"/> Borrowing Activity Letter	Webhook Patron Circulation Summary	WEBHOOK	<input type="checkbox"/>

### レター設定

これらのWebhookの詳細については、「[デベロッパーネットワーク](#)」を参照してください。

## Webhook 統合プロフィールの構成

Webhookタイプの統合プロフィールを構成するには、次のようにします。

1. 統合プロフィールリストページ（設定メニュー>一般>外部システム>統合プロフィール）で、統合プロフィールを追加を選択します。統合プロフィールウィザードの最初のページが開きます。
2. 統合タイプのドロップダウンリストから、**Webhook**を選択し、プロフィールのコードと名前を入力します。
3. 次へを選択します。ウィザードの2ページ目が開きます。

Integration Profile

WEBHOOK CONFIGURATION

Status Pending activation

Webhook listener URL \*

Custom header

Secret \*

Message type \*  JSON  XML

SUBSCRIPTIONS

Job Finish

Notifications

Users

Requests

Loans

BIB records

Physical items

Receive - continuous PO line

### Webhook 設定

4. 有効化を選択して、Webhook統合プロフィールをアクティブにします。プロフィールがアクティブになるまで、ステータスは有効化待ちになります。
5. リスナーURLを**Webhook**リスナーURLに、シークレットコードをシークレットに入力します。ここで入力される値については、[Webhook](#)で技術情報テーブルを参照してください。
6. メッセージタイプが**XML**または**JSON**のいずれかを選択します。
7. 購読で：
  - 。ジョブの実行が完了したら、ジョブ完了を選択して、Webhookを送信します（Alma UIまたはAPIを使用してください）。
  - 。上記の通知のいずれかが送信されたときにWebhookを送信するには、**[通知]**を選択します。**[通知タイプの設定]**を選択してレターアクティビティコードテーブルを開き、一番下までスクロールしてこれらの通知のWebhookを有効にします。以前に有効化されたWebhook（ここ、または「通知設定」テーブルのいずれかで有効化されたもの）は、「有効化済み」として表示されます。ここで有効化したWebhookも、「通知設定」テーブル上で「有効化済み」として表示されます。目的の通知を有効にしたら、**[保存]**をクリックして統合プロフィールに戻ってください。

Enabled	Letter type	channel	Updated By	Last Updated	
<input type="checkbox"/>	ExportInvtLetter	SUBMISSION	-	-	...
<input type="checkbox"/>	InvoicePaymentLetter	SUBMISSION	-	-	...
<input checked="" type="checkbox"/>	FullCancelRequestLetter	WEBHOOK	-	-	...
<input type="checkbox"/>	FullItemChangeDueDateLetter	WEBHOOK	-	-	...
<input type="checkbox"/>	FullPlaceOnHoldShelfLetter	WEBHOOK	-	-	...
<input type="checkbox"/>	FullItemBorrowingActivityLetter	WEBHOOK	-	-	...

- 。ユーザー情報がアップデートされたときにwebhookを送信するには、ユーザーを選択します。これには、ユーザージョブによって行われた変更を含む、履歴が登録されているすべてのユーザー変更が含まれます。APIを使用してユーザーを変更しても、webhookは送信されないことにご注意ください。ユーザーグループボックスで、Webhookを送信するユーザーグループを選択します。ユーザーグループが指定されていない場合、すべてのユーザーグループに対してWebhookが送信されます。
- 。保留、予約、移動、デジタル化、またはワークオーダーのリクエストが作成された、閉じられた、または取置き棚に置かれたときに、リクエストを選択してwebhookを送信します。
- 。ローンの作成、返却、または紛失の申告がされたときに、ローンを選択してwebhookを送信します。
- 。書誌レコードが変更されたときに、【書誌レコード】を選択してwebhookを送信します。
- 。冊子アイテムが変更されたときに、冊子アイテムを選択してwebhookを送信します。
- 。受信 - 継続的な注文明細 を選択して、継続的な注文明細を受信したときに Webhook を送信します。
- 。リソース共有貸出リクエスト を選択すると、リソース共有貸出リクエストの Webhookが送信されます。

8. [保存]を選択します。設定したプロファイルが、統合プロファイルリストに表示されます。

## Note

- 。統合プロファイルを定義したら、統合プロファイルアクションのリストからログの表示を選択できます。このオプションを使用すると、webhookイベントのログを表示できます。次に、テーブル内で URL およびペイロード要素を検索できます。各 Webhook リクエストについて、リクエスト本文を表示することが可能です（表示は 4000 文字を超えると切り詰められますが、完全なリクエスト本文はリスナーに送信されます）。
- 。webhookの試行が失敗した場合、webhookプロファイルの連絡先情報タブで規定されているすべてのEメールアドレスにEメールが送信されます。
- 。Premium Sandbox環境では、Webhook Listener URLが削除され、プロファイルが非アクティブに設定されます。これは、Sandbox環境で行われたWebhookアクションが、本番データと同じようにリスナーサーバーに着地するため、テストデータと本番データが混在してしまうためです。サンドボックス環境で統合プロファイルをアクティブ化したい場合は、上記の手順4と5の指示に従って続行します。